



滋賀短期大学 学 報

2012. 12. 1

No. 72

〒520-0803 大津市竜が丘24-4 滋賀短期大学 広報・図書委員会 電話(077)524-3605

ホームページアドレス <http://www.sumire.ac.jp/tandai/>



純美禮祭ステージ

スポーツ活動や文化活動に期待するところ

滋賀短期大学学長 佐藤 尚武



第47回全国私立短期大学の体育大会が8月に開催され、本学は出場した全種目で上位ベスト3に入るという大活躍でありました。ソフトテニス女子は団体で優勝、個人では1位、2位、3位を独占し、バドミントン女子は団体で優勝、複では2位、単では1位となり、バドミントン男子は団体で優勝、複では1位、単では1位と2位を占めました。バレーボール女子はAブロックで3位、バスケットボール女子もAブロックで3位と、多くの出場チームがあるなかでの大善戦でした。また、10月には近畿の私立短期大学的女子総合体育大会があり、ソフトテニスとバスケットボールは準優勝という輝かしい成績でありました。

同じ立場にある短大生と競い、上位の成績を収められたことは、出場種目が全国的に高い競技レベルにあることを示しています。また、全国大会で4種目以上が上位に入る短大は本学以外になく、そういう意味では本学のスポーツ活動が高い水準にあることも示しています。このように活躍できる学生がいるキャンパスは活力に満ち、他のスポーツ活動へはもちろんのこと、文化活動にも好影響をもたらすことになります。

文化活動としては、第10回ザ・地産地消家の光料理コンテストにおいて、Kitchen & Kitchenサークルが出品し、佳作に選ばれました。また、2012KDKファッションランプリコンテストにおいては、京都百貨店協会賞を受賞しました。これらはその一端であり、各種のフェスティバルへの出展や参加もあって、教職員と一体となって活動しているサークルもみられます。

ところで、本学の学生団体の状況をみると、23団体に250名が加入し、加入率は37.5%であります。そのうち、スポーツ系では10団体の113名、文化系では13団体の137名です。4割近い学生がスポーツ活動や文化活動に親しんでいる実態にあり、本学では積極的な活動を勧めているところです。その背景には、学業から得るに劣らないものがあるように思われるからです。少し大げさになりますが、多くの学業は社会に適切に対処する適応行動であって、技術的存在者としての側面を支えています。それに対して、多くのスポーツ活動や文化活動は、天性的存在者としてのたくましく生きる側面を支え、また人格的存在者としてのよく生きていく側面を支えていくこ

とになります。

目標に向かって切磋琢磨する活動を通して、特有の能力を培っていくように思われます。まず、活動による身体操作性です。スポーツ活動といっても、競技によって要求される要素は異なりますが、いずれも身体操作性を高め、文化活動においても同様です。このような能力は、日常の行為や行動に対し、身のこなしのスマートさ、パワフルさ、タフさなどが反映されます。また、活動による身体適応性があります。季節性のもと、低温下でも高温下でも活動が余儀なくされ、温度環境への適応が生じます。競技者では特に発汗等による放熱機転に優れ、日常の体温調節においても重要な役割を果たします。関連して、活動は時間的にも地理的にも異なる対応が求められ、やがて場に応じた対処性を備えるようになります。これらの身体操作性や適応性は、ある程度外から見える能力であります。

それに対して、見えにくい、あるいは見えない能力があります。それは、活動による空間的な認知能力です。その一例として野球の解説者の表現に、あのピッチャーのボールは重いとか、軽いとかがあります。検定球は同じ重さですが、動きのなかで重さが変わります。このような空間的認知力は競技によって異なりますが、この感覚的尺度の優劣がしばしば競技力を左右することになります。この認知力は、スポーツ場面ばかりでなく、文化的活動でも同じであり、結果的にはこの空間的思考力を研ぎ澄ましていることになります。

この感覚的認知力の身近な例として、友人の「おはよう」への対応をみると、通常は「おはよう」と返答しますが、「おはよう」といわないで、「どうしたの」、「何かあったの」と、問い返すことがあります。声の調子、顔の表情、身体の仕草など、「おはよう」の背景を推し量る空間的思考による情報を同時にキャッチして対応しているのです。もう少し加えますと、日常的な感覚的尺度として、あの人は温かい人、冷たい人などのように、推し量る温度計、あの人はとげのある人、とげのない人などのように、推し量る痛み計などをもっています。

実は、このような感覚的認知力が高い人ほど、コミュニケーション能力に優れているように思われます。人との対応は、言語的やりとりの巧みさよりも、言語の背景を推し量れる感性の良さが大切であるような気がします。そのようなことから、スポーツ活動や文化活動を通して、見えない能力を培ってくれることを期待しているところです。このような能力が、やがて生きる豊かさにつながっていくように思われてなりません。

本学所蔵遊具について

本学には貴重な遊具が所蔵されています。その一つは、フレーベル (1782-1852) の恩物で、もう一つはモンテッソーリ (1870-1952) の教具です。ぜひ機会を見つけてご覧ください。

フレーベルは、世界で最初に幼稚園を作った人で、幼児教育の理論と実践に生涯をささげた人です。彼は、子どもの中には神性が宿っており、子どもの創造的な活動の中に、神の創造的な本性が表れる、と考えています。フレーベル研究第一人者の故莊司雅子先生によれば、神も人間も創造すると言っても、人間は、神のように無から物を作るのではなく、神の作品である自然を理解し、そこから得た方法と材料によって創造します。そこで、フレーベルは子どもに神のように、自然を理解し、創造させる手段として遊具を考案し、これをSpielgaben (遊びのための贈り物、賜物、

わが国では恩物と訳されている) と名づけました。

次に、モンテッソーリは、イタル、セガンの知的障がい児の研究、近代のルソー、ペスタロッチの影響を受け、独自の理論を作り上げ、幼児期を感覚期ととらえ、子どもの感覚訓練、生活訓練を目的とした教具を考案しました。



教務部長 越後 哲治

朝食カフェオープン



平成24年7月18日、朝食ベーカリーカフェをオープンすることができました。と言ってもわずか1日、それも朝だけ学生ホールを借りてのオープンでした。でも私たちにとっては念願のオープンだったのです。それはこの春誕生したパンとスイーツの研究サークル「ベーカリー塾」の活動第1号にと、みんなで決めて準備と試作を重ねていたからです。自宅が遠い学生は前日から友達の家泊り込み、当日はクラブ員20名全員が朝6時までに集

生活学科 特任教授 金丸 政義

合し、8時のオープンに向けあわただしく準備して、店長、サービスリーダー、調理リーダー (すべて2回生) を中心に何とか8時オープンに間に合わせることができました。メニューは、フレンチトースト、ウインナーと卵、エッグベネディクトや焼きたてパンなどです。オープン前に生活学科の先生方からサプライズでお祝いの花束が届いたのは本当に驚きで、全員大感激で張り切ってオープンすることができました。お客様からは「ポーチドエッグが上手に出来ていた」「フランスパンのフレンチトーストはあつあつで最高」「次回が楽しみ」「笑顔がステキ」「制服が感じよかった」などの感想をいただきました。

今回は初めての経験で反省点もたくさんありましたが、自分たちの考えたメニューを自分たちで作りと、それをサービスし、お客様に喜んでいただいたことは学生たちにとって何よりの励みになったと思います。また、最近は朝食の欠食が問題にされ、年代別では20歳代が最も多いといわれる結果が出ています。朝食は1日の活力の源であり、欠食すると学力低下や健康不良、さらに肥満の原因になるといわれています。これをきっかけに朝食の大切さを考えてもらえるよう、今後も定期的に開催できればと思っています。そして私たちベーカリー塾の夢は、近くに毎日でも定期的にパンやスイーツ、カフェの店をオープンし、地域の方々に喜んでいただける活動です。

給食経営管理学外実習を終えて

生活学科 食健康コース（栄養士養成課程）2回生 原井 千晶

夏休みに、栄養士資格取得のために給食経営管理学外実習として、児童福祉施設に、5日間行ってきました。

実習では、栄養士さんの仕事として、献立作成や昼食・おやつ提供、食育媒体作りを体験させていただきました。さらに、栄養士さんの企画された園児への食育活動のホットケーキ作りのお手伝いもさせていただき、食育活動を行う際の栄養士さんの工夫について勉強しました。学校では、子どもたちに直接食育をすることはありませんが、今回の実習では楽しそうに参加する子どもたちの顔を見ることができました。子どもたちに自主的に食育に参加してもらえるように、栄養士は楽しく興味を持てるような企画を計画していかないとけないなと考える事が出来ました。

今回行った、児童養護施設での食事提供は、私の想像していた大量調理とは異なっていて、あくまでも、家庭としての食事の提供をされていました。学校や病院の食事とは違い、本来なら家庭の食事を通して身に付く食習慣を子どもたちに伝える重要性について学ぶ事が出来ました。

今回の実習で、栄養士として児童養護施設の子どもたちにとっての食事の大切さ、さらに自分にとって日々の食事

の大切さについても考える事の出来た実習となりました。この経験を通して、改めて栄養士になりたいと思いました。



食育媒体の資料を手作りしました。

中学の教育実習に行って

生活学科 食健康コース（栄養士養成課程）2回生 北村 みなみ

私は9月3日から24日まで母校の湖南省立石部中学校に教育実習に行ってきました。

1週目は体育祭に向けての準備に参加することができ、生徒達と一緒に行動を共にすることが多かったので、クラスの子とも楽しく接することができました。体育祭という大きなイベントと一緒に参加することができて本当に良かったです。生徒が一生懸命できるように教師がサポートすることの大切さを実感することができました。

2週目からは家庭科の先生の授業を参観させてもらいながら講話を聞いたり、研究授業の用意をしたりしました。実際に教育現場で授業をされている先生方は、生徒がどうしたら興味を持つのか、生徒一人一人に注意を払いながら机間巡視をされていてとても勉強になりました。家庭科の授業では楽しく学ぶことを大切にしなければならないと思いました。研究授業では夜遅くまで用意をしたり、指導案を作成したりと大変でしたが、先生に指導していただきながら完成させることができました。

3週目は研究授業があり、緊張しましたがなんとかやり遂げることができました。生徒が一生懸命発言をしてくれたり、考えてくれたりしたので嬉しかったです。授業をして、直す所や工夫する所などの課題を見つけることができました。また、部活にも参加することができ、授業以外でも生徒と楽しく関わることができました。

3週間という短い間でしたが将来教師を目指している私にとって、多くのことを学ぶことのできた実習でした。



保育実習での学び

幼児教育保育学科 2回生 吉田 佳恵

最初の1週間、0歳児クラスで実習をさせていただきました。ハイハイの子や、ヨチヨチ歩いている子などいましたが、その中に一人、人見知りする子がいました。私の顔を見ただけで怖がって泣くのです。人見知りについては、自分なりに理解して無理には関わらず様子をみていました。ある日の保育では「ぬいぐるみ」で遊ぶ時間がありました。私も「ぬいぐるみ」を使って話しかけてみると、その子は、最初は怖がっていましたが、だんだん「ぬいぐるみ」に興味を持ちはじめ、関わることができました。このように環境を工夫して玩具、ここでは「ぬいぐるみ」を使ったりすると関係が持てることを学びました。

後半は3歳児クラスでの実習でした。朝や夕方の自由遊びの時には、芝生の園庭で元気にサッカーや鬼ごっこをしている姿がみられました。私は、3歳児クラスの子どもたちと一緒に鬼ごっこを楽しんだり、サッカーボールを蹴り合ったりして遊びました。その隣では、5歳児の子どもたちがゲーム形式でサッカーをしている姿がみられました。2

月という寒い時期でしたが、子どもたちはみんな半袖になり元気に走り回り汗をかいていました。

この実習を通して先生方から人的環境、いろいろな玩具や遊具、芝生の園庭などから物的環境について学びを深めることができ、とても充実した実習となりました。



幼稚園実習を終えて

幼児教育保育学科 2回生 小西 佑太郎

私にとって保育実習は、保育士になるにあたってとても価値のある時間でした。目の前に子どもたちがいることで自分も「先生」と呼ばれ、自然と気も引き締まりました。普段のように椅子に座って講義を受ける時とは格別の緊張感であり、周りの動きを敏感にキャッチできるよう、自分のアンテナ（目、耳…）をフル稼働させることを心掛けた数週間でした。

設定保育では保育の内容だけでなく、その活動が苦手な子、他の子より遅い子に対する配慮事項、子どもの安全を考えた環境構成等、自分では気づくことができなかったことまで事細かに指導していただきました。その時は自分の力のなさ、普段からの学習不足を強く感じましたが、指導いただいたことをもとに、指導案を作成し、保育をやり通すことができました。活動の計画をすることはとても苦労することでしたが、終わってから子どもたちが「おもしろかった!!」「またしたい!!」と言いに来てくれた時は心から嬉しく思い、前の晩の睡眠不足も吹き飛びました。

私は来年度から保育士として働くつもりですが、実習で

経験したこと、指導いただいたことは必ず仕事の中で生かせると思います。実習で学んだことに無駄なことは何ひとつありませんでした。しかし、今の自分に満足せず、今後さらに学習を積み重ねることで、子どもたちから笑顔を引き出せる保育者になれることを願い、あと少しの学生生活を過ごしたいと思います。



第46回 全国私立短期大学体育大会

全国私立短期大学体育大会（全短）が8月に開催されました。本学からはバスケットボール部、バレーボール部、バドミントン部、ソフトテニス部が参加し、たいへん優秀な成績を収めました。

●バスケットボール部（女子） 第3位

●バレーボール部（女子） 第3位

●バドミントン部

女子 団 体 優 勝

ダブルス 準優勝 藤井 里穂（生活2）・長谷 光（ビジ2）ペア

3 位 國友 瑞貴（ビジ2）・木村 友都（幼教1）ペア

シングルス 優 勝 松尾 遥（ビジ1）

男子 団 体 優 勝

ダブルス 優 勝 林 慎也（幼教2）・村田 大和（ビジ2）ペア

シングルス 優 勝 山内 周（幼教1）

準優勝 友定 正登（幼教2）

●ソフトテニス部

女子 団 体 優 勝

ダブルス 優 勝 谷口優佳子（生活2）・森脇 美佳（ビジ2）ペア

準優勝 鈴木絵怜菜（幼教1）・岩井明日香（幼教1）ペア

第3位 池田 花蓮（生活2）・廣田 美咲（幼教1）ペア

第3位 小川 玲保（生活1）・白井 優奈（ビジ1）ペア



バスケットボール部キャプテン 宮元 菜摘

（ビジネスコミュニケーション学科 2回生）

8月7日から9日にかけて行われた全国私立短期大学体育大会に向け、チームとしては、前年度果たすことができなかった“全短優勝”“日本一”という目標を掲げてたくさんの人に支えられながら日々の練習に励んできました。準決勝で昨年準優勝の埼玉県の秋草学園短期大学と戦い、惜しくも敗れ第3位という結果で終わりました。目標達成への思いが強かっただけに、自分達のバスケットをやり切ることが出来ず、悔しい思いをしました。結果は3位でしたが、この大会で様々なことを学び、自分達のプラスになった部分も多くありました。目標達成に向けて全員が一丸となって戦うことの素晴らしさを実感した大会となりました。



バレーボール部顧問 山中 博史

（ビジネスコミュニケーション学科 教授）

8月7日から競技が始まり1日目は予選リーグ、2日目から決勝トーナメントになりました。最終日準決勝で松山東雲短大と対戦。惜しくもフルセットで敗戦しました。結果、昨年を上回る3位の成績を残すことができました。試合当日は松村理事長に来ていただき、声援を送っていただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。

バドミントン部 藤井 里穂（生活学科 2回生）

女子は去年は個人戦のダブルスのみの優勝だったので今年は完全優勝を目指して試合に望みましたが、惜しくもダブルスだけ優勝をつかみ取る事が出来ませんでした。悔しい結果でしたが、全短を通して自分たちの課題を発見することができ、また学ぶ事も沢山あったのでとてもいい経験になりました。メンバー全員で応援し、励まし、協力したお陰で全ての種目で入賞し、また、一緒に戦える仲間がいることの大切さも知ることができました。今年の結果を今後の練習に活かし、来年の完全優勝を後輩達に託そうと思います。



ソフトテニス部





第43回純美禮祭は、気がつけばあっという間に終わりを迎えていました。

今年は、去年に引き続き純美禮祭実行委員会を中心に準備を進め、大成功のうちに終えることができました。ご協力いただいた皆様には、心から感謝いたします。

何から手をつければいいのか分からない中、ひとつずつ仕事を整理していきながら準備を進めていきましたが、純美禮祭が近づくにつれ、不安と楽しみが交差していく感情が日に日に強くなっていったことが印象に残っています。そして、とうとう迎えた純美禮祭当日は、一言で表すと「忙しい」そのものでした。純美禮祭を運営する忙しさは大変でしたが、それと同時に「やりがい」や懸命に取り組む「価値」を感じることができるものでした。純美禮祭に来てくださる人達に楽しんでもらえるように、自分達に出来ることを考えながら、実行委員会が一丸となって、その忙しさを楽しみながら成功に導くことができました。

純美禮祭を通して感じたことは、ひとつの大きなイベントを成功させるには、本当に準備が大切であるということでした。実現が難しいと思ったことも、実行委員会のメンバー、教職員の方々、そして快く協賛していただいた広告主の皆様、また地域の方々など、多くの方々の協力の元に準備を進めることが出来ました。本当にありがとうございます。また、純美禮祭を通して関わりのある仲間も増え、苦しいこと、楽しいこと様々な出来事がありましたが、多くの貴重な時間を共に過ごすことができました。これらの経験は、これからの人生において心の拠り所となるものであり、自分たちの成長につながるものであったと実感しています。



これからも、純美禮祭の歴史は続きます。後輩の皆さんは、来年以降、今回創り上げたもの以上に良いものを創る努力を惜しまないで下さい。なぜなら、純美禮祭は今ここでしか味わえない最高のモノだから…。

第43回 純美禮祭実行委員会

委員長 田中 良祐（生活学科2回生）

平成24年度 美しい日本語コンクール

テーマ：近江文化を通して、美しい日本語を学ぶ



国語の基礎力向上と図書館利用推進を目指す“美しい日本語コンクール”は、今年も近江文化をテーマに開催されました。最優秀者へは、11月9日 純美禮祭の開会式にて、佐藤尚武学長より、表彰状および副賞が手渡されました。また、純美禮祭初日のこども企画の中で、附属幼稚園のこどもたちを招いて、恒例の入賞者により「読み聞かせ会」も実施いたしました。

審査員 【朗 読 部 門】 長谷雄一先生 清水まゆみ准教授

【読み聞かせ部門】 森島洋一短大附属幼稚園園長 安井恵子准教授 手良村昭子准教授

【エッセイ部門】 今関信子先生 實生輝先生

【朗 読 部 門】入賞者

最優秀賞

原井 千晶（生活2）「妖怪アパートの幽雅な日常①」

優 秀 賞

奥田 胡桃（生活2）

「金子みすず童謡集 わたしと小鳥とすずと」

平林真莉子（生活2）「鮫人の恩返し」

【読み聞かせ部門】入賞者

最優秀賞

八木 茜（幼教2）「オールさんはおまわりさん」

優 秀 賞

中川 祥江（幼教2）「くまどんときつねどん」

稲森みやび（幼教2）「やまのおふろやさん」

高林 菜穂（幼教2）「ずーっとずっとだいすきだよ」

仲江 千尋（幼教2）「くまのこうちょうせんせい」

幸岡 由衣（幼教2）「ごろりん ごろん ころろろ」

生活学科長賞

回溯 光真（生活1）「アンナの赤いオーバー」

幼児教育保育学科長賞

川中 杏紗（幼教2）「めっきら もっきら どおん どん」

ビジネスコミュニケーション学科長賞

八賀 志穂（ビジ2）「くまのこうちょうせんせい」

【エッセイ部門】入賞者

最優秀賞

野畑 智春（ビジ2）「近江の歴史あふれるお寺」

優 秀 賞

高林 菜穂（幼教2）「琵琶湖の水質汚染について」

脇坂明日香（ビジ2）「ENNICHI」

加藤 純平（幼教1）「膳所の月、湖の風」

松田 咲穂（幼教2）「近江ことばについて」

杣田 有加（ビジ1）「逢坂山」

関谷栄里加（幼教1）「変わらないもの」

川村 真未（生活1）「私の近くにある文化」

吉野 香（幼教2）「大津百町の今」

澤田祐太郎（生活1）（無題）

小澤 由伽（生活2）「食生活と環境」

下山 菜摘（ビジ1）「近江文化と水」

河合 優衣（生活2）「琵琶湖について」

阿部 綾瀬（ビジ1）「三方よし」について」

細野 真希（幼教1）「琵琶湖とウォータースポーツ」

エッセイ部門最優秀賞作品

「近江の歴史あふれるお寺」

ビジネスコミュニケーション学科2回生 野畑 智春

私の地元である大津市には、石山寺というお寺があります。このお寺には何度も訪れたことがあり、私が一番身近に感じられる近江の歴史あるお寺です。

さざなみが煌めく琵琶湖の湖水が、やがて穏やかな流れとなる瀬田川。石山寺はその西岸の伽藍山のふもとの景勝地にあります。その創立は東大寺大仏造立のための黄金不足を憂えた聖武天皇がここに伽藍を建てて如意輪法を修めるようにとの夢告を受け、良弁僧正を開基として開かれたのが石山寺でした。また、国宝に指定されている本堂は寺名の由来となっている国の天然記念物の珪灰石という巨大な岩盤の上に建ち、その他にも多くの国宝と重要文化財も収蔵されています。

このような歴史をもつ石山寺ですが、中でも私が一番印象に残っているのが秋に行われる石山寺秋月祭です。この石山寺秋月祭では珪灰石や国宝の多宝塔などが約二千個の灯火でライトアップされ、昼間に訪れる石山寺とはまた違った幻想

的で幽玄な世界を感じられました。そして近江八景の一つである月見亭の後ろに浮かぶ秋月は本当に美しいもので、その昔、紫式部も本堂から湖面に映えるこの月を眺め『源氏物語』を起筆したそうです。この月を眺めて紫式部も昔の人達も何を思っただろうかと過去に思いを馳せながら、今も昔も変わらない美しい風景を同じ場所で見ているというのは何とも神秘的な気がしました。

また、石山寺は「花の寺」とも言われています。四季折々の植物が趣を添え、中には珍しい植物もあるこの寺全体が植物園のようだからです。いつ訪れても違った顔を見せてくれる石山寺。このような素晴らしい石山寺を、私はこれからも近江の文化に触れることのできるお寺として大切にしていきたいと思いました。

◆今関信子氏講評

石山寺を愛する作者が、最も好きだと言う秋月祭を味わう様が伝わってくる素直な作品だ。

◆實生輝氏講評

寺の概要、近江八景にうたわれている石山の秋月をさりげなく取り入れたところ、最後に花の寺の印象、構成も見事です。

私の青春時代

私の青春時代

「私の青春時代について記事を」との編集者からの依頼。でも、青春時代と云われても今ひとつピンと来ない、はたして有ったのかと。でも「若い時」は確かに有った。クラシック音楽、なかでもブラームスに甚く心酔し、また、日夜研究室で実験に明け暮れていたことを思い出す。

楽器は全く演奏できない。ピアノをと思ったが左右の手指が別々には動かない。楽譜を読み取る神経回路がどうも普通ではないらしい。だから諦めて聴くことに徹した。ミュンシュ／ボストンのペルリオース幻想交響曲を聴いたのが入り口、数年後ブラームスにのめり込んだ。コンサートに行く金がないのでFM放送とレコードで我慢しチューナーやコンボも寺町でキットや部品を調達して自分で組み上げた経験がある。奨学金はほぼ音楽に消えた。

改めて胸に手を当て己の青春時代は？と問うてみると、「今青春をしています」としか答えようがない。第二の教員生活を滋賀短大で実に楽しく過ごさせていただいている。サミュエル・ウルマンの青春という詩の重要な部分を添えて返答としたい。そう、人生の一時期ではない、心の有り様なのだ。青春とは。

なお、この詩は様々なエピソードを持って知られている。関西経済界の重鎮であった宇野収さん（東洋紡）によって広く紹介され、財界では、「高齢者もまだまだやれる、世代交代何す

生活学科 特任教授 佐伯 行一

るものぞ」との意気込みが有ったやに聞く。肉体の衰えはいかんともし難いが心はまだまだ若い。笑うことなかれ。

“Youth” Samuel Ullman

Youth is not time of life;
it is a state of mind;

Nobody grows old merely by a number of years.
We grow old by deserting our ideals.
Years may wrinkle the skin,
but to give up enthusiasm wrinkles the soul.



小樽で過ごした青春時代

小樽は坂の町です。私は、この小樽にある小樽商科大学という、全学で1,000人程度の商学部だけの小さな国立大学で4年間の過ごしました。今から三十数年前の話になります。大学は小樽駅からずっと坂を上っていき、小高い山の中腹にあります。この坂は、その傾斜のきつさから「地獄坂」と呼ばれていました。住まいは、大学と道路を隔てて向かいにある智明寮という寮で、寮費は月額300円、食費は3食で1万円と当時としても破格の安さでした。つまり、「1か月1万円生活」を住居、水道光熱費で実践していたことになります。もちろん、粗食でしたが、栄養のことは考慮されており我慢できる範囲でした。家庭教師のアルバイトで、1か月分の食費と寮費を賄えました。授業料も非常に安い時代でした。寮は写真でわかるようにパンカラ気質（わからない人は辞書をひこう）が残っており、夜は、ほとんど毎日、酒盛りと、本当はよく知りもしない学問や社会問題について夜通し議論をしていました。この寮での4年間の生活が、現在の私の基盤を作っているような気がします。部活は剣道部でした。勉強のほうは、あまり熱心な学生ではありません

ビジネスコミュニケーション学科 教授 小山内 幸治

せんでしたが、管理科学科という、経営数学やコンピュータを扱う学科に所属し、コンピュータ（昔は電子計算機といっていました）に興味を持って、電子計算センターに入り浸っていました。これが、いまの私の専門性を決めました。寮の仲間とは、いまでも時々、連絡をとっています。集まると当時の話はつきません。恵まれた学生時代を過ごしたものだと思っています。みなさんにも、将来思い出に残る充実した学生生活をしていただきたいと思います。



（応援団長、筆者、副団長）

保健室だより

学生支援課 主事（保健室） 平田 綾子

体とこころの健康

短大で勉強やクラブやサークルをがんばったり、友達と楽しく遊んだり、アルバイトをしたり、自分の好きなことを楽しんだりする時に大切なものは何だと思いますか？

それは、元気な体とこころです。体とこころが元気だからこそ、いろいろなことをがんばったり、好きなことを楽しんだりすることができるのです。

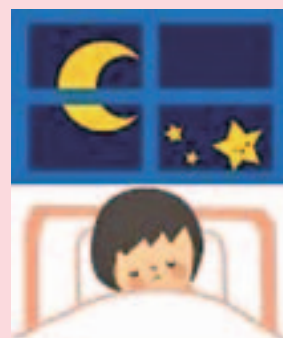
だから、毎日の生活では体とこころの健康を保てるようにすごさなければなりません。

熱はないけれど頭が痛いとき、みなさんはどうしますか？一番よいのは、「夜いつもより早く寝る」ことです。寝ている間に体の中では、傷んだ組織の修復が行われたり、疲労を回復させるホルモンが出ています。病院に行くほどではないけれど、体調が悪い時は、無理をせずに、消化の

よいものを食べて、ゆっくり体を休めることが大切です。

悩みや心配事がある時はどうしていますか？解決方法が見つからず、どうしたらよいかわからない時などは、ぜひ学生相談室のカウンセラーに気軽に相談してください。予約は保健室で取っています。こころの健康を保てるように学生相談室も利用してください。

かぜやインフルエンザが流行する季節になりました。しっかり予防をして、寒い冬でも体もこころも元気に過せるようにしてください。保健室からみなさんのことを応援しています。



図書館だより

図書館係長 丸谷 知子

図書館には8万冊の図書が揃っています。その中から、面白そうな図書を紹介します。

まずは、『折り紙建築シリーズ』（彰国社刊）です。『折り紙建築』からはじまり『折り紙建築 世界の遺産をつくらう！』まで15冊発行されています。図書館では絶版の2冊を除いて、13冊揃っています。ウェストミンスター修道院や清水寺がつくれるのは、圧巻です。見ているだけでも楽しくなります。もともとは、建築学を身近に知ってもらうために生活学科の先生の推薦で揃えたのですが、他の学科の学生さんでも利用できます。お薦めは『折り紙建築 四季折々のカードを作る』『折り紙建築 グリーティングカード集』です。ポップアート絵本・飛び出すカード作りの参考になります。クリスマスカードにも使えます。もちろん、可愛い系のクリスマスカードの本も図書館には揃っています。

12月になると、図書館ではクリスマス関係の図書を展示します。クリスマスの絵本と言って、何を思い出しますか。『あのね、サンタの国ではね…』でしょうか。『まどから

おくりもの』でしょうか。クリスマスソングは「ホワイトクリスマス」でしょうか。ケーキやクッキーの作り方・クリスマス料理の作り方など、お菓子・料理の本も数多くあります。学科を超えて貸出しますので、皆さん利用してください。本格的なクリスマスリースの本もあります。

卒業生・旧教職員の方も貸出しますので、是非利用してください。



同窓会だより

同窓生の皆さまにおかれましては益々お元気でご活躍のことと存じます。

平成24年度同窓会および懇親会を7月1日（日）、滋賀短期大学内で開催いたしました。あいにくの天候でしたが、ご出席いただきました会員の皆さま、教職員の方々、お忙しい中ありがとうございました。

総会では平成23年度決算及び平成24年度予算案が承認可決されましたことをご報告いたします。

総会の後に、今年度は名誉教授の成田先生を初め特任准教授の戸田先生、非常勤職員の西村さんにお手伝いを頂きながら手づくりコサージュを作りました。卒業以来の学生気分を味わいながらも、なかなか思うように行かずつい、「せんせ〜い」と救世主を求めました。久しぶりの針と糸に格闘しながらも何とか無事に世界で1つだけの作品が出来上がりました。

また、懇親会では恒例のビンゴ大会で4期生から41期

同窓会 運営委員 田中 知恵子（教務課主任）

生までが上位の景品をめざし、昼食を摂りながら和やかなひと時がもてました。滋賀短期大学のホームページに掲載しておりますので雰囲気をご覧ください。

今回ご都合が付かなかった同窓生の皆さま！一年に一度のこの機会にぜひ来年はお友達をお誘いの上、どうぞお気軽にお越しください。心よりお待ちしております。



後援会だより

後援会会員の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は後援会活動に対し、格別のご理解とご協力をいただき、また物心両面にわたり支えていただいておりますこと、心よりお礼申し上げます。

さて、本後援会は大学との連携の基に、大学の諸活動に対し支援させていただき、学生の方々はじめ学校全体の充実を目指して取り組んでおります。

また、本年も学園祭である「純美禮祭」に後援会として模擬店の一店に入らせていただき、「炊き込みご飯コーナー」で若き学生の皆さん、大学関係者、そして地域の皆さんと交流させていただきました。

まだまだ活動としては未熟な部分が多いですが、これからも後援会役員が丸となり、取り組んでいきたいと思っております。

後援会 会長 長谷 直美

これからも会員の皆様と一緒に滋賀短期大学を応援して参りたいと思いますので、皆様のご協力とご支援をよろしくお願い致します。



2012年度 公 開 講 座

第26回教養講座

教養講座では毎年4つの異なる分野の講演を、周辺地域の皆さんを対象に公開しています。

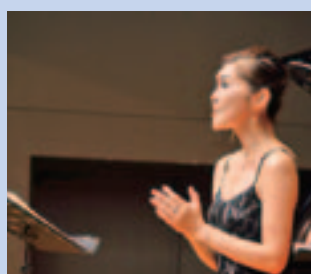
10月16日の「フランス近代音楽の魅力」では本学幼児教育保育学科の柚木たまみ准教授のソプラノ、安倍ありかさんのピアノ、西村美香さんのフルートでドビュッシー、フォーレ等の作品が演奏されました。日本ではクラシック音楽はドイツ系が主流ですが、演奏曲それぞれについての解説があり、フランス音楽がより身近になったのではないのでしょうか。次いで「実践的ストレス活用法」では健康心理士の八尾稔啓さんにクイズを交えながらストレスとの付き合い方をお話しいただき、聴講の皆さんはリラックスされている様子でした。

10月19日には「美味しいものは変わらない」と題して、(株)バレット代表取締役の前田省三さんに、ふなずしを利用したスイーツや生活習慣病患者さん向けのスイーツの開発時の苦労話をご披露いただきました。誕生の背景を知ると、試食品の味わいも格別のものになりました。また、

広報・図書委員 准教授 清水 まゆみ

本学幼児教育保育学科の手良村昭子准教授による「レッジョ・エミリア教育」は、レッジョ・エミリアというイタリアの町で行われた世界最高水準の教育の紹介でした。

今回も多くの方にご参加いただき、好評のうちに終わることができました。今後もさまざまな講座を企画し、開かれた短期大学であることを継続していきます。



フランス近代音楽の魅力



レッジョ・エミリア教育

こどもの講座

今年の夏も「こども陶芸教室」「こども書道教室」「こども料理教室」「こども英語教室」「フラワーアレンジ教室」と5つのこども向けの講座が開かれました。どの講座も毎年好評で、夏休みはたくさんの地域のこども達に滋賀短期大学で色々な学びや体験をしていただいています。

昨年からはまった「フラワーアレンジ教室」も人気の講座の一つで、こどもたちは大人顔負けの芸術的なアレンジをしてくれます。今年のテーマは「爽やかなホワイトとグリーンのフラワーバスケット」でした。白のガーベラとカーネーションをメインにグリーンセダム、フウセントウワタ、テマリソウ、アレンジ用の小さな洋ナシなど、珍しい花材を目の前にして、こどもたちの表情も生き生きとしていました。

鷺崎先生から、お花を生けるためのオアシスと花や枝を切る時のはさみの使い方を習い、こどもたちは思い思いのアレンジを楽しんでいました。出来上がったフラワーバスケットはどれも爽やかなグリーンとホワイトで

広報・図書委員 准教授 手良村 昭子

可愛らしく仕上がりました。お迎えに来られたお母さまたちからは「まあ、素敵！」と声が上がりました。綺麗に仕上がったフラワーバスケットを両手に抱えて、こどもたちはとても満足した様子で帰って行きました。

来年もまた地域のこどもたちに滋賀短期大学でさまざまな楽しい体験をしていただけるような「こどもの講座」を開催して行きたいと思っています。



ステップアップ講座 デジカメ写真講座(基礎)

広報・図書委員 特任教授 陣内 皓之祐

デジカメ写真講座は、8月28、29日の両日には基礎篇、9月3、5、7日の3日間にわたり応用篇が開講されました。初日には、パソコンに取り込んだ写真の行方不明を避けることをテーマとした写真ファイルの整理法が、二日目には取り込んだ画像の修正・編集が主な内容でした。筆者は二日目のみに飛び入り参加し、画面全体、あるいは特定の色に限った明度と彩度の修正や、不要な像を取り除く方法、および、画面に文字を組み込む方法などを勉強させていただきました。各受講者が机上のモニター画面で講師の宮本先生がされる操作を見ながら、各自のパソコンで同じ操作を行う、という方法で簡単にやり方をおぼえることができます。先生は各操作が必要な理由や修正の効果などについて、色彩の物理学や心理学の話も交えてわかりやすく説明されました。受講者の皆様は大変熱心にパソコン画面に集中されていて、講座の前半は私語される方もない程でしたが、後半にはお隣同士で相談されている声も聞かれるなど、打ち解けた雰囲気その日は散会となりました。受講者の多くは引き続き応用篇も受講され、写真の合成と加工、さらにはレイヤーを

活用した高度の修正などにも取り組む予定とのことでした。



◀書道教室



楽しく作るパンの時間▶

ステップアップ講座として、「楽しく作るパンの時間」、「書道教室」、「デジカメ写真講座」、「陶芸教室」、「さあはじめようハングル講座」を開講しました。

滋賀短期大学・滋賀医科大学共催公開講座

広報・図書委員 特任教授 佐伯 行一

本学と滋賀医科大学との共催公開講座が8月4日(土)に本学で開催されました。この共催講座がスタートして4回目の今回は『食事与健康！－良質タンパク質と食物繊維で血管を若く』をテーマに、「講演の部」として、「血管を若く保つために」医学の立場から、滋賀医科大学内科学講座 前川 聡 教授による、そして、栄養学の立場から、滋賀医科大学付属病院栄養治療部 仲川 満弓 管理栄養士によるお話がありました。超高齢化社会を迎えて多くの病気を抱えながら日々暮らして行かなければならない現状に対して「多病息災のすすめ」の紹介に始まり、健康で長寿を達成するには、日本人の約30%が血管の老化（動脈硬化）で命を無くしていること、寝たきりになる第1の原因が脳卒中であること、健康寿命府県別ランキングで滋賀の女性は47位であること、そして、血管の老化の原因が高血圧症、高脂血症、糖尿病、喫煙であると話題は展開しました。後半、血管を若く保つには、食習慣において魚（n-3系多価不飽和脂肪酸を多く含む）と食物繊維の

摂取そして減塩食が効果があることから、これらのことを達成するための食材選びと調理についてわかりやすくお話し頂きました。

「調理実習の部」では、滋賀短期大学 中平真由巳教授・長尾綾子准教授をはじめとして生活学科の先生方の指導のもとに、サークル「キッチンキッチン」に所属する学生と滋賀医科大学栄養治療部の栄養士の方々の協力をえて、郷土の食材を使った、朝・昼・夜と3食分の献立を調理し、参加者全員で味わっていただきました。

「講演の部」には120名を超える受講者があり、また、「調理実習の部」には45名の方が参加され盛況の内に閉講しました。



学校法人純美禮学園 法人本部報告

平成23年度決算状況

学校法人純美禮学園の平成23年度決算は、公認会計士の監査、学園監事の監査、理事会・評議員会の承認を得て、確定いたしましたので報告いたします。

消費収支計算書は、当該会計年度の消費収入、消費支出の内容及び均衡の状態を明らかにし、貸借対照表は、本学園の年度末の資産状況を明らかにするものであります。

消費収支決算における、本年の収支差額は16,888千円の消費収入超過額となり、貸借対照表の純資産は、短期大学の情報教育システムの更新等により資産が増え、一方、負債は、借入金の計画返済による減少等により、前年度末より101,026千円増加して4,156,818千円となりました。

消費収支計算書

1. 消費収入の部		単位：千円
科 目	年度等	平成23年度決算額
学生生徒等納付金		1,157,888
手数料		38,369
寄附金		4,498
補助金		375,070
資産運用収入		18,037
資産売却差額		768
事業収入		5,696
雑収入		140,252
帰属収入合計 (A)		1,740,577
基本金組入額合計 (B)	△	84,138
消費収入の部合計 (C)		1,656,439
2. 消費支出の部		
人件費		1,184,336
教育研究経費		358,998
管理経費		89,299
借入金等利息		5,670
資産処分差額		1,248
徴収不能引当金繰入額		0
消費支出の部合計 (D)		1,639,551
3. 消費収支差額		
収支差額 (C) - (D)		16,888
前年度繰越消費支出超過額 (△)	△	2,045,836
翌年度繰越消費支出超過額 (△)	△	2,028,948

貸借対照表

		単位：千円
科 目	年度等	平成23年度末
資産の部	固定資産	[4,362,691]
	有形固定資産	(3,121,265)
	土地	333,352
	建物	2,242,973
	構築物	56,141
	機器備品	217,226
	図書	266,366
	車輛	5,207
	その他の固定資産	(1,241,426)
	引当特定資産	1,240,680
	電話加入権他	746
	流動資産	[554,477]
	現金預金	394,475
負債の部	未収入金	157,760
	貯蔵品他	2,242
	資産の部合計 (A)	4,917,168
	固定負債	[407,615]
	長期借入金	238,160
	退職給与引当金	169,455
	流動負債	[352,735]
	短期借入金	46,680
	未払金	22,066
	前受金	260,830
基本金の部合計 (C)	預り金	23,159
	負債の部合計 (P)	760,350
	基本金の部合計 (C)	6,185,766
	消費収支差額の部合計 (G)	△ 2,028,948
(P) + (C) + (G)		4,917,168

■主要財務比率の経年比較

比 率	算式 (×100)	平成19年度 (決算)	平成20年度 (決算)	平成21年度 (決算)	平成22年度 (決算)	平成23年度 (決算)
人 件 費 比 率	人 件 費 / 帰属収入	78.6%	74.2%	67.1%	63.7%	68.0%
帰 属 収 支 比 率	消費支出 / 帰属収入	114.1%	106.5%	95.5%	92.3%	94.2%
流 動 比 率	流動資産 / 流動負債	84.8%	98.9%	123.4%	132.7%	157.2%

平成24年度理事会・評議員会の開催状況

平成24年度のこれまでに開催された理事会（役員会）及び評議員会の概要を報告いたします。提案された議案は、理事及び評議員により審議され、全て原案のとおり可決されました。

なお、この他に理事長、短期大学長、高等学校長及び幼稚園長の各理事計4人による常任理事会を4回開催しております。

開催日時	理事会（役員会）の議案・報告事項	開催日時	評議員会の議案・報告事項
5月30日 10時00分	議案 1. 平成23年度事業報告について 2. 平成23年度決算について 3. 平成23年度監査報告について 報告 短大・高校・幼稚園の現況	5月30日 13時30分	議案 1. 平成23年度事業報告について 2. 平成23年度決算について 3. 平成23年度監査報告について 報告 短大・高校・幼稚園の現況
9月14日 14時00分	議案 1. 滋賀短期大学学則の一部改正について 報告 短大・高校・幼稚園の現況		

短期大学行事等開催状況 (平成24年6月～11月)

(総務課に届け出のあったものの一部を掲載しています。)

6月

- 2 日(土) MOS講座／模擬面接(於：大津プリンスホテル)／火曜日指定授業(幼2)
- 3 日(日) 教育懇談会／ホームカミングディ／後援会総会
- 5 日(火) ビジネス検定対策講座／学園事務連絡会議
- 7 日(木) 6月教授会
- 9 日(土) MOS講座／公務員模擬テスト
- 12 日(火) 入試説明会(草津)／ビジネス検定対策講座
- 13 日(水) 入試説明会(京都)
- 14 日(木) 就職支援講座／教務委員会／学生支援委員会／広報・図書委員会
- 15 日(金) 入試説明会(彦根)／男子学生の集い
- 16 日(土) MOS講座／水曜日指定授業(幼2)
- 19 日(火) ビジネス検定対策講座
- 20 日(水) 体育大会(於：県立体育館)
- 21 日(木) 1 回生教務オリエンテーション／就職支援講座／入試説明会(本学)／生活科会／幼教科会／ビジコミ科会／筆記試験対策講座
- 22 日(金) ハラスメント対策委員会
- 23 日(土) MOS講座／木曜日指定授業(幼2)
- 26 日(火) ビジネス検定対策講座
- 28 日(木) 就職支援講座／企画委員会／基本事項検討委員会
- 30 日(土) 第1 回オープンキャンパス

7月

- 1 日(日) 同窓会総会
- 2 日(月) 自己点検・評価運営委員会
- 5 日(木) 7 月教授会／基本事項検討委員会／広報・図書委員会
- 7 日(土) MOS講座／保育内容表現発表会
- 8 日(日) 第1 回リーダーズ・トレーニング
- 10 日(火) 学生募集委員会
- 12 日(木) 就職支援講座／教務委員会／学生支援委員会
- 14 日(土) 第2 回オープンキャンパス
- 15 日(日) MOS講座／公務員模擬テスト
- 17 日(火) 月曜日指定授業
- 19 日(木) 生活科会／幼教科会／ビジコミ科会
- 21 日(土) MOS講座／金曜日指定授業(幼2)
- 24 日(火) 国際交流委員会
- 26 日(木) 就職支援講座／企画委員会／教務委員会
- 29 日(日) 第3 回オープンキャンパス
- 30 日(月) 前期定期試験(～8 / 3(金))

8月

- 4 日(土) 滋賀医科大学との共催公開講座
- 6 日(月) 夏期休業(～9 月18日)／高大連携講座(幼教)／こどもの講座(陶芸・書道)／ステップアップ講座(書道)
- 7 日(火) AO事前面談(Ⅰ期)／ステップアップ講座(パン)
- 8 日(水) AO事前面談(Ⅰ期)／こどもの講座(料理・英語)
- 9 日(木) こどもの講座(料理・英語・フラワー)／実習委員会
- 10 日(金) 高大連携講座(ビジコミ・生活)／ステップアップ講座(パン)／こどもの講座(料理)
- 19 日(日) 第4 回オープンキャンパス
- 20 日(月) こどもの講座(陶芸・書道)／ステップアップ講座(書道)
- 21 日(火) ステップアップ講座(パン)
- 23 日(木) 臨時教授会／教職員健康診断
- 24 日(金) ステップアップ講座(パン)
- 26 日(日) AO事前面談(Ⅱ期)
- 27 日(月) AO事前面談(Ⅱ期)／こどもの講座(陶芸・書道)／ステップアップ講座(書道・デジカメ基礎)
- 29 日(水) ステップアップ講座(デジカメ基礎)
- 30 日(木) ビジコミ科会

9月

- 3 日(月) ステップアップ講座(デジカメ応用)／科目等履修生試験
- 4 日(火) ステップアップ講座(陶芸・ハングル)／学生募集委員会
- 5 日(水) ステップアップ講座(デジカメ応用)
- 6 日(木) ステップアップ講座(陶芸)
- 7 日(金) ステップアップ講座(デジカメ応用)

8 日(土)

- 第5 回オープンキャンパス／学生募集委員会／ビジコミ臨時科会
- 10 日(月) ステップアップ講座(書道)
- 11 日(火) ステップアップ講座(ハングル)
- 13 日(木) 9 月教授会／教務委員会／広報・図書委員会
- 18 日(火) ステップアップ講座(陶芸・ハングル)／生活科会／全国私立短期大学体育大会優勝祝賀会
- 19 日(水) 前期成績交付／2 回生教務オリエンテーション／第2 回リーダーズ・トレーニング
- 20 日(木) 前期再試験／学生支援委員会／幼教科会／ビジコミ科会
- 21 日(金) 第1 回就職ガイダンス
- 24 日(月) 後期授業開始／公務員対策講座ガイダンス／ステップアップ講座(書道)
- 25 日(火) ステップアップ講座(陶芸・ハングル)
- 27 日(木) 企画委員会
- 28 日(金) 9 月卒業式
- 29 日(土) AO事前面談(Ⅲ期)
- 30 日(日) AO事前面談(Ⅲ期)

10月

- 1 日(月) 履修変更締切日／ステップアップ講座(書道)
- 2 日(火) ステップアップ講座(ハングル)
- 4 日(木) 就職支援講座／10 月教授会／FD研修会／教務委員会
- 6 日(土) MOS講座／公務員対策講座
- 9 日(火) ステップアップ講座(ハングル)／石山中学マナー講座
- 11 日(木) 教務委員会／学生支援委員会／広報・図書委員会
- 12 日(金) コミュニケーション検定講座
- 13 日(土) MOS講座／公務員対策講座／医事管理士・医療管理秘書士認定試験
- 15 日(月) ステップアップ講座(書道)
- 16 日(火) 教養講座(フランス近代音楽の魅力、実践的ストレス活用法)／滋賀県農業高校教員来学／石山中学マナー講座
- 17 日(水) 石山中学マナー講座
- 18 日(木) 防災訓練／就職支援講座／生活科会／幼教科会／ビジコミ科会
- 19 日(金) 教養講座(美味しいものは変わらない、レッジョ・エミリア教育)／コミュニケーション検定講座／学園事務連絡会
- 20 日(土) MOS講座
- 21 日(日) MOS講座
- 23 日(火) ステップアップ講座(ハングル)
- 25 日(木) 企画委員会
- 26 日(金) コミュニケーション検定講座
- 27 日(土) 公募制推薦入試(前期)・指定校推薦入試・専門高校指定校推薦入試
- 28 日(日) 公募制推薦入試(前期)・AO入試・スポーツ特技推薦・入試専願特別推薦入試
- 29 日(月) ステップアップ講座(書道)
- 30 日(火) ステップアップ講座(ハングル)

11月(予定も含む)

- 1 日(木) 11 月教授会／就職支援講座／学生募集委員会
- 2 日(金) コミュニケーション検定講座
- 6 日(火) ステップアップ講座(ハングル)
- 8 日(木) 教務委員会／学生支援委員会／広報・図書委員会
- 9 日(金) 純美禮祭／綾羽高校生来学
- 10 日(土) 純美禮祭／秋のオープンキャンパス
- 12 日(月) ステップアップ講座(書道)
- 15 日(木) 就職支援講座／生活科会／幼教科会／ビジコミ科会
- 16 日(金) コミュニケーション検定講座／虎姫高校生来学
- 17 日(土) 特別支援教育／MOS講座／公務員対策講座
- 20 日(火) 石部高校生来学／ステップアップ講座(ハングル)
- 22 日(木) 企画委員会
- 24 日(土) 特別支援教育／MOS講座／公務員対策講座
- 26 日(月) ステップアップ講座(書道)
- 29 日(木) 就職支援講座
- 30 日(金) コミュニケーション検定講座

博士号取得一未だ学究の途上にて



ビジネスコミュニケーション学科 教授 柿木 重宜

平成24年2月1日に、大阪大学大学院言語文化研究科（言語社会専攻）より正式に博士号（題目「近代『国語』の成立における藤岡勝二の果たした役割について」）を授与された。この間、色々なご配慮をして頂いた本学の教職員の皆様に、深甚より感謝申し上げたい。論文博士という性質上、提出後、概ね1年の時を経たが、本格的な最終審査は、平成23年11月10日に実施された博士論文審査委員会（主査1名、副査4名）であった。時に辛辣な質問もあり、審査は2時間もの長時間に及んだ。最後の教授会の結果を伺った後、自らの研究史に一つのメルクマークを刻めたことに喜びを感じた。浅学非才な我が身に、どれほどの研究成果が残せるのか心許ない限りであるが、今後も終わりのなき研究テーマを求める決意をした次第である。

KDKファッショングランプリコンテスト 京都百貨店協会賞を受賞して

生活学科 生活クリエイトコース 2回生 山根 真理子

今年度のテーマは「あこがれ」でした。私のあこがれは大人の女性なので、出来るだけシンプルなデザインを心がけました。ダークな紫色で落ち着きとセクシーな雰囲気を出して、共布で製作した大きな花のコサージュにラインストーンをつけることで華やかさを演出しました。裾広がりデザインなので、まつり縫いをするのに時間がかかり苦労しましたが、完成した時は達成感と嬉しさで、本当に頑張った良かったと思いました。二次審査では、完成度の高いドレスばかりで入賞できるとは思わなかったもので、名前を呼ばれた時はとても驚きました。後から嬉しさが込み上げてきました。はじめはドレスが完成するのか不安でしたが、今は応募のきっかけとなったファッションデザイン実習を履修して良かったと思っています。学生生活の良い思い出になりました。



中央が筆者

本学の手良村昭子准教授の 『個展』が開催されました

幼児教育保育学科 准教授 深尾 秀一

昨年10月、「ギャラリー風の門」主催の第12回公募『風展』において 幼児教育保育学科の手良村昭子准教授の銅版画作品『yume』が作品総数51品の中から「一席・風の門大賞」に選出されました。

『yume』は、「物語性・リズム感があり、世界観を伝える表現に長け、線と色彩のバランスが良く、銅版画の魅力を活かしている。」という審査委員の講評のもと、大賞受賞となりました。

その受賞記念として今回、同画廊 ギャラリー風の門（滋賀県草津市）において 8月21日(火)から26日(日)の間、個展が開催されました。



第12回公募 風展
一席・風の門大賞
『yume』

国際交流を進めています。

滋賀短期大学は中国北京市海淀区職工大学との姉妹校協定を平成24年8月25日に締結しました。今後、両大学間の教育研究、学術交流や学生交流を促進していきます。

寄付報告 平成24年4月1日から10月31日までの間に滋賀短期大学教育研究充実基金に26件、610,000円のご寄付を賜りました。ここにご寄付を賜りました方々のご芳名を掲載させていただき感謝の意を表します。

（順不同・敬称略）

板倉安正・飯田義浩・秋長克知・山本孝子・上田弘幸・吉田 誠・出口 芳・宮川秀樹・阿部昭男・武呂 卓
西浦尚美・田中純文・東野高浩・小倉浩之・中田浩司・早川 潤・岩脇房世・吉田隆信・圓渕 朗・柴田 昭
山内 均・米田智明・寺田正男・岡田充弘・中川 亨・友定正之